

質問・要望・情報交換等 発言事項について

地区職域薬剤師会会長会において発言を要望する際は、下記にご記入のうえ、会長会を開催する週の水曜日までに、Mail (soumu@toyaku.or.jp) 若しくはFAX (03-3294-7359) にて提出をお願いいたします。

発言事項	(質問・要望・情報交換など) 発災 72 時間以内の緊急医療救護所のために備蓄している医薬品リストについて、各市薬剤師会にて一覧があるようでしたら公表をお願いしたい
------	---

地区・職域薬剤師会名 国分寺市薬剤師会

氏 名 笠原徳子

[要 旨] (具体的にお願い致します) 11/30に、府中市における緊急医療救護所の一つである「東京都立多摩・小児総合医療センターにおける緊急医療救護所」の開設運営訓練を見学させていただきました。 国分寺市では、令和6～8年度にかけて、地域防災計画の見直しを行っています。薬剤師会も災害医療救護計画策定委員会に加わり、これまで作成してきた計画の見直しを行っているところです。現在、国分寺市で備蓄している災害用医薬品の種類は、医師会の要望を受けて、かなりの種類があります。ところが、今回、多摩小児総合医療センタにおける緊急医療救護所の医薬品リストは20種類のみでした。72時間で必要とされる医薬品がいかにスマートに選択されていることに感動しました。同様に、少数精鋭の医薬品の備蓄にシフトしたいと考えています。72時間以降はライフラインの復旧に伴い、現在、日本薬剤師会が進めていますアクションリストの医薬品情報の共有により、必要な医薬品の入手は迅速に行われることが期待されています。 国分寺市における現在の問題点は、さまざまな医薬品の種類を希望する医師会にどのように納得してもらうかです。そのため、納得してもらうためのエビデンスを集めたいと考えました。つきましては、各薬剤師会にお願いさせていただきたく存じます。発災72時間以内に想定した備蓄医薬品リストがありましたら、是非、ご教示賜りたくお願い申し上げます。一覧表のご提示にあたっては、都薬の指示に従いたく存じます。よろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。
-2-